

「令和5(2023)年度 南丹市の人権に関する市民意識調査」〈概要〉

1. 目的 令和4(2022)年1月に施行した「南丹市人権を尊重し多様性を認めあうまちづくり条例」では、市民一人ひとりが大切にされ、だれもが生きやすく安心して暮らせるまち、お互いに助けあうやさしいまちの実現を目指すことが掲げられている。社会情勢の変化及び市民の方々の考えにあった人権施策を進めていくため、平成25(2013)年度実施の調査結果と比較検証したうえで、「(仮称)南丹市人権施策基本方針」の基礎資料とするために、人権に関する市民意識調査を実施。
2. 調査対象 南丹市在住の18歳以上の方(外国人含む)1,500人
※住民基本台帳から無作為抽出
3. 調査方法 郵送配布・郵送回収・オンライン回答
4. 調査の期間 令和6(2024)年2月 (3月1日締切)
5. 調査概要 配布数 1,500 回収数 404 回収率 26.9%
※平成26年2月 配布数 1,500 回収数 517 回収率 34.5%

◇回答抜粋

問3 日本における人権問題について、あなたが関心のあるものはどれですか。(複数回答可)

	今回 (%)	前回 (%)	備考
障がいのある人に関する人権問題	51.2	44.9	
インターネット上での人権問題	48.3	30.0	
女性に関する人権問題	45.5	37.9	
子どもに関する人権問題	42.3	33.3	
高齢者に関する人権問題	32.7	35.0	
性的指向及び性自認(LGBTQ+)を理由とする人権問題	26.0	7.2	性的指向(同性愛など)を理由とする人権問題
同和問題(部落差別)	22.8	27.5	

問5 あなたは、今の日本の社会は人権が尊重されている社会だと思いますか。

	今回 (%)	前回 (%)	備考
そう思う	13.1	22.8	
いちがいには言えない	73.3	53.4	どちらとも言えない
そう思わない	12.4	20.7	

問17 あなたは、「同和地区」「被差別部落」などと呼ばれ、差別を受けている地区のことや「同和問題」「部落問題」「部落差別」といわれている問題のことを知っていますか。

- ・ 知っている 89.1% → 問17-1
- ・ 知らない 8.9%
- ・ 無回答 2.0%

問17-1 「同和地区」や「同和問題」、「部落差別」について初めて知ったきっかけは。

- ・ 学校の授業で教わった 50.0%
- ・ 家族(祖父母、父母、きょうだい等)から聞いた 30.3%
- ・ 同和問題に関する集会や研修会で知った 10.0%

問 17-3 あなたが家を買ったり借りたりする際に、重視する（した）立地条件は何ですか。

- ・ 市の中心部や最寄りの駅、幹線道路へのアクセス 67.8%
- ・ 公共施設や商業、医療施設、公園や緑地などの状況 62.2%
- ・ 日照やまわりの風景など 50.0%
- ・ 近隣に低所得者が多いと言われていないか 2.8%
- ・ 近隣に外国籍の市民が多いと言われていないか 2.8%
- ・ 近隣に同和地区があるとされていないか 2.8%

問 22 あなたは、「LGBTQ+(セクシャルマイノリティ)」という言葉を知っていますか。

- ・ 言葉の意味を知っている 52.5%
- ・ 言葉を聞いたことがある 33.4%
- ・ 言葉を聞いたことがない 9.2%

問 24 同性カップルの「パートナーシップ」を証明する制度を導入している自治体について、あなたは知っていますか。

- ・ 内容も知っており、関心がある 10.1%
- ・ 知っているが、内容までよく知らない 51.5%
- ・ 知っているが、関心はない 14.1%
- ・ 知らない 24.3%